

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概 要
(著書(欧文))				
(著書(和文)) 1. 『中小企業の国際化と 自立化：日立地域の胎 動』	単著	2022年3月	文眞堂	中小企業はいかにして国際化に向かうか。その方向性と特徴、課題について論究する。かつて脆弱な存在とみなされた中小企業が中核企業(大企業)との取引関係を通じて蓄積した技術力、イノベーションを礎に、自立化を進め、国際化に向かう。その胎動を企業城下町日立地域にみとり、史的・定性的・定量的分析を交えながら、実像に迫る。
(学術論文(欧文)) 1.				
(学術論文(和文)) 1. 「地域中小企業国際化の胎 動と自立化：日立地域中小 企業のDOI (Degree of Internationalization)と 自立化の測定」	単著	2019年10月	『国際ビジネス研究』 11(2) pp. 31-47	企業城下町の産業集積地における中小産業財製造企業がいかにして国際化するのか、その特徴について、自立化の概念と絡ませながら、DOI指標及び自立化指標を分析枠組みとして、定量分析し、事例研究も交えながら考察した。(査読有)
2. 『地域中小企業国際化と自 立化の研究：日立地域にお ける中小外注加工業・産業 財製造業の展望』	単著	2020年3月	博士論文(埼玉大学)	地域における企業城下町の産業集積地における産業財中小製造企業の国際化の特徴について、自立化の概念と絡ませながら分析し、その方向性と課題を論じた。
(紀要論文) 1. 「茨城県県北中小製造企業 の事業国際化への取組み： "Born-again Global Company"の萌芽」研究論文	単著	2016年3月	『常磐国際紀要』(20) pp. 33-72	従来型の下請型中小企業を脱し、国際化を目指す茨城県県北(日立・ひたちなか地域)における中小企業の技術革新や顧客開拓のあり様について論じた。(査読有)
2. 「エスコラピオス修道会創 設の史的位置づけと意義： 聖ヨセフ・カラサンスの教 育実践と霊性」研究論文	単著	2018年3月	『常磐総合政策研究』 (1) pp. 69-96	ルネサンス後期、混乱するローマにおいて、世界初の無償による児童教育を開始し、今日、日本を含む全世界にまたがる規模の修道会を創設した聖ヨセフ・カラサンスの霊性と実践を考察した。(査読有)
3. 「地域中小企業国際化の研 究：日立地域における金属 加工業・産業財製造業を中 心に」研究論文	単著	2018年4月	『経済科学論究』(15) pp. 51-61	日立地域において長年日立製作所を中核企業として取引を続けてきた中小ものづくり企業がいかにして国際化と自立化(脱下請)を果たすのかを論じた。(査読有)
4. 「地域中小企業国際化度合 (DOI: Degree of Internationalization)測 定指標の策定：理想プロ フィール指標による測定項 目設定の試み」研究論文	単著	2018年12月	『常磐総合政策研究』 (2) pp. 1-48	地域における企業城下町の産業集積地の中小産業財製造企業の国際化について測定するための客観的で定量的な尺度を構築するために、欧米の先行研究を参照しつつ、日本の中小企業に合った、理想プロフィール指標の手法を援用したDOI (Degree of Internationalization) 測定指標を論じた。(査読有)
5. 「日立製作所の外注政策展 開過程：工場史にみる日立 製作所の中小企業対応史 (1)」研究論文	単著	2019年12月	『常磐総合政策研究』 (4) pp. 53-79	日立地域における日立製作所傘下の主要工場による外注政策を跡付けることにより、中核企業と中小企業の取引関係の史的展開過程を戦前からグローバル化の今日まで分析し、企業城下町における中小ものづくり企業のコンピタンス形成を考察した。(査読有)

6. 「日立製作所の外注政策展開過程：工場史にみる日立製作所の中小企業対応史（2）」研究論文	単著	2020年3月	『常磐総合政策研究』(5) pp. 51-77	日立地域における日立製作所傘下の主要工場による外注政策を跡付けることにより、中核企業と中小企業の取引関係の史的展開過程を戦前からグローバル化の今日まで分析し、企業城下町における中小ものづくり企業のコンピタンス形成を考察した。（査読有）
(辞書・翻訳書等) 1.				
(報告書・会報等) 1. マクロ政治経済情勢から投資環境に至るまでの調査分析と戦略構築・実行		1993年5月 ～ 1999年2月	社内書類	国際的な政治経済情勢の調査分析から、実務的な投資環境市場情報の調査分析に至るまで、経営者が必要とする形で提供した情報及び戦略
2. サプライチェーンの最適化		2003年2月 ～ 2009年8月	社内書類	顧客の創造と維持に必要な供給と在庫の適正化を実現するプロジェクトシート等
3. 連結利益への貢献		2008年4月 ～ 2014年4	社内書類	自ら所属する小組織（生産事業所や販売会社等）を超えた全社的な連結利益の最大化に向けた具体的改善活動の実行
4. 「EC地域政策の展開過程とその政治的意義」		1992年3月	『政治学研究』（慶應義塾大学法学部）	大学3年時に執筆したEC地域政策に関する論文。
5. 「海外駐在員業務の面白さと苦勞」		2011年11月	講義用メモ	常磐大学国際学部経営学科における特別講義
(国際学会発表) 1.				
(国内学会発表) 1. 「日立・ひたちなか地域における中小下請企業の自立化・国際化の研究：中小下請企業のVOICE型取引からEXIT型取引に向けた変化と日立製作所工場の果たした役割」	単著	2017年7月22日	国際ビジネス研究学会第90回 関東部会（於：東京大学 本郷キャンパス 経済学研究科学術交流棟 小島ホール2F）	日立・ひたちなか地域中小企業の自立化（脱下請）と国際化がいかんして進展しつつあるか、自立化と国際化を分析枠組みとして設定しつつ、過去の先行研究の成果と事例研究を交えての考察内容を発表した。
2. 「地域における追従型国際化中小企業の実態：日立地域の事例」	単著	2020年11月15日	国際ビジネス研究学会第27回 全国大会（愛知大学主催オンライン開催）自由論題⑨	日立地域の中小ものづくり企業の国際化において、中核企業の要望に沿って海外投資を行う「追従型国際化中小企業」の実態についての分析を行い考察内容を発表した。
3. 日立地域中小企業の国際化におけるLateral Rigidityと自立化	単著	2021年4月25日	日本経営学会関東大会（駒澤大学主催、オンライン）	日立地域中小企業を事例として、LR（国際化における硬直性）が低い企業ほど国際化が進むということ、また自立化の推進が国際化をもたらすということを実証した研究を発表。
4. 日立地域中小企業の国際化におけるLateral Rigidityと自立化	単著	2021年9月4日	日本経営学会第95回大会（同志社大学主催）自由論題	日立地域中小企業を事例として、LR（国際化における硬直性）が低い企業ほど国際化が進むということ、また自立化の推進が国際化をもたらすということを実証した研究を発表。
(演奏会・展覧会等) 1.				
(招待講演・基調講演) 1.				
(受賞(学術賞等)) 1.				

研 究 活 動 項 目						
助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等 の別	種 類	採択年度	交付・ 受入元	交付・ 受入額	概 要
(科学研究費採択) 1. 若手研究	代表	科研費	2021年度	常磐大学	2,340,000	地域中小企業の国際化と自立化の研究
(競争的研究助成費獲得(科研費除く)) 1. (株)常陽銀行「持続可能 社会に向けた地域の環境づ くり活動」教育研究助成 公募	代表	助成金	2020年度	常磐大学	200,000	日立地域中小企業の自立化と国際化におけ るLateral Rigidityに関する研究
2. 2021年度水戸信用金庫 教育研究助成	代表	助成金	2021年度	常磐大学	125,000	日立地域における「追従型国際化」中小企 業の実態に関する研究と地域金融への示唆
(共同研究・受託研究受入れ) 1.						
(奨学・指定寄付金受入れ) 1. 株式会社筑波銀行寄贈サー ビス付SDGs私募債『地域の 未来応援債』を活用した書 籍一式	代表	寄付	2020年度	本学	100,000	10万円相当の経営学・国際経営論研究関連 書籍一式
(学内課題研究(共同研究)) 1.						
(学内課題研究(各個研究)) 1. 2018年度各個課題研究 2. 2020年度特別奨励研究助成	代表 代表		2018年度 2020年度		340,000 400,000	地域中小企業の国際化と自立化の研究 地域中小企業国際化の研究
(知的財産(特許・実用新案等)) 1.						